

#### (4) 水道料金

令和4年度の給水原価は151.6円、供給単価は147.0円となった(図-10)。令和3年度と比較し、供給単価は約7.3円安くなっている。一方で、給水原価は6.4円高くなっており、給水原価が供給単価を上回る結果となった。供給単価については令和2~4年にかけて新型コロナウイルス感染症の影響を受けていると推測される。

給水原価、供給単価を全国と同年度で比較すると、直近の令和3年度水道統計によれば、全国平均の給水原価は167.79円、供給単価は171.85円となっているのに対し、大阪府の給水原価は145.2円、供給単価は154.3円となり、令和3年度は給水原価、供給単価の両方で全国平均を下回っていた。

表-15のとおり事業間で格差が生じているが、家庭用1ヶ月20m<sup>3</sup>(口径別料金の場合13mm)当りで換算して比較すると、2,600円以上2,800円未満の事業が最も多く、府平均は2,938円となっている。

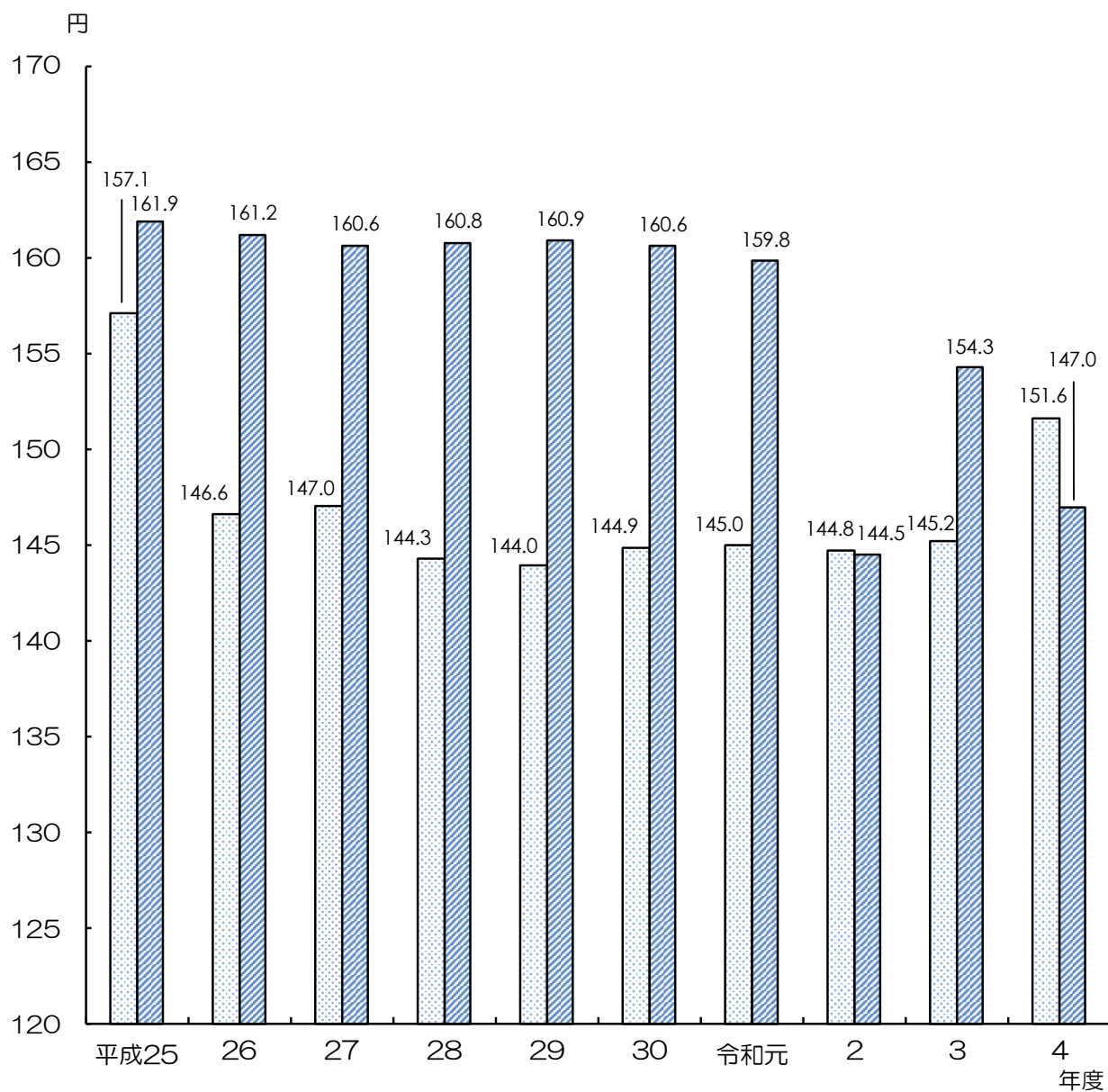
また、最高料金は4,906円で最低料金2,035円の2.41倍となっている(表-15)。


表-15 家庭用水道料金(上水道)


1ヶ月20m <sup>3</sup> 当り換算		事 業 数
2,000円未満		0
2,000円以上 2,200円未満		2
2,200円以上 2,400円未満		1
2,400円以上 2,600円未満		8
2,600円以上 2,800円未満		10
2,800円以上 3,000円未満		8
3,000円以上 3,200円未満		7
3,200円以上 3,400円未満		2
3,400円以上 3,600円未満		1
3,600円以上 3,800円未満		0
3,800円以上 4,000円未満		1
4,000円以上		3
(備考) 平均料金	2,938 円	
最低料金	2,035 円	
最高料金	4,906 円	

令和5年3月31日現在

図-10 給水原価と供給単価（上水道）




 給水原価 =  $\frac{\text{経常費用} - \text{受託工事費} - \text{長期前受金戻入等 (平成26年度以降)}}{\text{年間総有収水量}}$


 供給単価 =  $\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$